

監 一〇三

五七二

十五十一

局長



書記官
監理官



新納電灯株式會社 好摩受電所 ト電力供給契約
締結ニ關スル件

東北振興電力株式會社
標記件別紙通提出有之矣 承及供覽候

概要

- 一 供給地 泉 岩手県岩手郡巻堀村大字好摩
- 一 供給電力 常時 一、五〇〇 KW
- 一 供給期間 自昭和十五年二月一日至昭和二十四年十二月三十一日
- 一 電料料金 一 kWh 二付 一、五円五毛
- 一 充当電力 生保内発電所 発電電力

参
附

内閣東監第一五二號

昭和十四年五月二十四日

内閣東北局長 宇都宮 孝 平

東北振興電力株式会社社長 横山 助成 殿

電力需給ニ關スル契約締結認可ノ件

貴社電力需給ニ關スル契約締結ニ際シテハ豫メ内閣總理大臣ノ認可ヲ申請相成居候處事業計畫ニ於テ其ノ概要ヲ具シ認可ヲ受ケタルモノニ限リ該契約締結後遲滞ナク之ヲ内閣總理大臣ニ報告相成ルコトトシ認可ハ特ニ要セザルコトト相成候條爾今右ニ依リ御取扱相成度此段及通牒候

追テ異例ニ屬スル供給條件ニ依リ契約ヲ締結セントスル場合ハ豫メ當局ニ御打合相成度申添候

内閣

裏面白紙

分
13

内閣東監第一五二號

昭和十五年三月十二日

内閣東北局長 宇都宮 孝 平

東北振興電力株式會社社長 横山 助成 殿

電力需給ニ關スル契約締結報告ノ件

昭和十四年五月二十四日附東監第一五二號ヲ以テ通牒致置候電力需給
契約締結ニ關スル報告ノ件ハ左記事項ヲ具シ御提出相成度爲念及通牒
候

記

- 一、需給契約ノ概要
- 一、事業計畫トノ對照
- 一、電氣料金算出説明書
- 一、契約者ノ供給先ノ電力用途及電氣料金
- 一、電力需給契約書寫

内
閣

70% エイブライト紙

裏面白紙

並 一〇三

電第九九號

昭和十五年六月十八日

東北振興電力株式會社

社長 横山 助

成

内閣總理大臣 米 内 光 政 殿

奥羽電燈株式會社ニ對シ同社好摩受電所ニ於テ左記要領ノ電力需給
契約締結致候ニ付昭和十四年五月二十四日附内閣東監第一五二號御
通牒ニ基キ此段及御届候
追而昭和十五年三月十二日附内閣東監第一五二號御通牒事項ノ内
「契約者ノ電力供給先、供給先ノ電力用途及電氣料金」ニ付テハ
目下調査中ノモノ有之ニ付追而御届可仕候

東北振興電力株式會社

添 附 書 類

一、需給契約ノ概要
二、事業計畫トノ對照
三、電氣料金算出説明書
四、電力需給契約書

記

一、需給契約ノ概要

供給地點 岩手縣岩手郡巻畑村大字好摩第一地割字和臺十番地
ノ一奥羽電燈株式會社好摩受電所但シ將來磐城郡合
ニ依リ兩社協議ノ上岩手縣岩手郡本宮村大字本宮字
木門三番地磐城郡盛岡變電所ニ移スコトアルモノトス
供給電壓 標準六三〇〇「ボルト」
供給電力 常時電力最大一五〇〇「キロワット」
供給期間 送電開始ノ日ヨリ昭和二十四年十一月三十日迄
責任負荷率 每一ケ月間ニ付 六〇％
電氣供給料金率 一「キロワット」時ニ付一錢六厘五毛
料金更改期 昭和十七年十二月一日及爾後滿三ケ年毎
ニ事業計畫トノ對照

東北振興電力株式會社

昭和十四年度事業計畫書		今 同 契 約	
供給電力	常時電力最大一五〇〇キロワット	全	上
供給地點	奥羽電燈株式會社好摩受電所	全	上
電力料金率	常時電力一キロワット時ニ付金一錢五厘五毛	常時電力一キロワット時ニ付金一錢六厘五毛	

三、電氣料金算出説明書

昭和十四年十月二十六日內閣東監第一三二號御認可昭和十四年度
事業計畫ニ於テハ「昭和十四年度以降需用電力ニ對スル標準電氣
料金ノ設定ニ關スル説明書」ノ通昭和十四年度供給開始電力ノ標
準料金ナ
常時電力六萬「ボルト」渡負荷率六〇％ニ於テ一錢四厘五毛
ト定メタル處ナルモ爾後附建設工事費ノ昂騰ニ伴ヒ電氣料金値上
ケノ已ムナキニ至リ昭和十四年十二月二十七日附電第四六二號申

(日本標準規格四判)

(A)

請事業計畫ニ於テハ昭和十四年度以降ノ標準電氣料金ヲ

常時電力六萬「ボルト」渡負荷率六〇％ニ於テ一錢五厘五毛

ト定メタルモノトス

而シテ右ハ當社ノ主要需用地渡ヲ基準トシタルモノニシテ本電力

ハ當社ノ主要需用地點タル盛岡變電所ニ於テ需給スベキモノナル

處諸種ノ事情ニヨリ一時之ヲ奥羽電燈ノ好摩受電所ニ於テ需給ス

ルコトナリタル爲之ニ依リ生ズル當社ノ諸損失ヲ見込ミ右標準

料金ニ一厘ヲ加算シ金一錢六厘五毛ト定ム

凡電力需給契約書別紙ノ通トス

東北振興電力株式會社

(日本標準規格附判)



電力需給契約書（好摩受電所分）

奥羽電燈株式會社
東北振興電力株式會社

電力需給契約書

奥羽電燈株式会社（以下甲ト稱ス）ト東北振興電力株式会社（以下乙ト稱ス）トノ間ニ甲ノ好摩受電所ニ於ケル電力需給ニ關シ契約ヲ締結スルコト左ノ如シ。

第一條 乙ハ左ノ期日ヨリ左ノ電力ヲ甲ニ供給シ甲ハ之ヲ需用スルモノトス

昭和十五年二月一日以降 常時電力最大一、五〇〇キロワット

第二條 電力需給地點、電氣方式、周波數、需給電壓及需給時間ハ左ノ通トス

一、需給地點 岩手縣岩手郡岩手町大字好摩第一地割字和臺十番地ノ一甲ノ好摩受電所但シ將來乙ノ都合ニ依リ甲乙協同ノ上岩手縣岩手郡本宮村大字本宮字水門三番地乙ノ處同要電所ニ移スコトアルモノトス

二、電氣方式 交流三相三線式

三、周波數 五〇サイクル

四、需給電壓 標準六三、〇〇〇ヴォルト

五、需給時間 毎日二十四時間

第三條 甲ノ負荷ハ三相平衡負荷トシ其ノ力率チ八〇パーセント以上ニ

保ツモノトス若シ力率チ八〇パーセント以上ニ保テ得サル場合ハ甲ハ直ニ之ヲ改善ノ爲適當ノ設備ヲ爲スモノトス

前項ノ設備ヲ爲サヌ又ハ前項ノ設備ノ不充分ナルニ因リ電壓降下其ノ他負荷不能ノ狀態ニ立至ルコトアルモ乙ハ其ノ責任セサルモノトス

第四條 送電上ノ責任分界點ハ第二條第一號ノ甲ノ好摩受電所内甲ノ松尾第二送電線引込同路中八戸松尾第二兩送電線ノ接續點ニ最モ近ク設ケタル區分開閉器トシ電壓ヨリ該開閉器（開閉器ヲ含マス）迄ハ乙ニ於テ其レ以降ハ甲ニ於テ責任ヲ負擔スルモノトス

第五條 電氣工作物ノ施設、維持並ニ其ノ費用ハ前條ノ責任分界點タル開閉器ヨリ電壓側チ乙ノ負擔トシ負荷側チ甲ノ負擔トス

第六條 需給電力量ノ計量ハ第二條第一號ノ好摩受電所内甲ノ松尾第二送電線引込線六〇、〇〇〇ヴォルト級同路ニ甲ノ費用ヲ以テ施設スル乙ノ承認ヲ得タル公認積算電力計ニヨリ毎月末日午後十二時甲乙兩者立會ノ上之ヲ行フモノトス

最大需給電力ノ決定ハ前項積算電力計ノ三十分間毎ノ讀ミノ二倍ニヨ

ルコトトシ需給電力ノ力率ハ前項ノ好摩受電所内ノ計器ニヨリ測定ス
ルモノトス

前二項ノ計器ニ故障ヲ生シ又ハ其ノ指示ニ誤差アルコトヲ發見シタル
トキハ甲ヲ通滞ナク完全ナル計器ト取換テ爲スモノトシ完全ナル計器
ニ依ルコト能ハサル時間内ノ需給電力及需給電力量ニ付テハ其ノ都度
當時ノ需給狀態ニ依リ甲乙協議ノ上決定スルモノトス

第七條 甲及乙ノ保證スル責任需給電力量ハ每一ケ月間ニ付第一條所定
ノ電力ニ其ノ月ノ曆時數ヲ乘シテ得タルキロワット時數ノ六〇パーセ
ントトス

第八條 需給電力料金率ハ一キロワット時ニ付金一錢六厘五毛トス

第九條 前條ノ需給電力料金率ハ昭和十七年十二月一日及爾後滿三ケ年
毎ニ更改スルコトヲ得ルモノトス但シコノ場合ニ於テハ或ル可ク更改
期日ノ六ケ月位以前ヨリ之カ協議ヲ開始シ其ノ結果ハ其ノ更改期日ヨ
リ實施スルモノトス

第十條 甲ハ第六條ニ依リ計量シタル其ノ月ノ使用電力量ニ第八條所定
ノ料金率ヲ乘シテ得タル金額ヲ其ノ月ノ電力料金トシテ乙ニ支拂フモ
ノトス

甲ノ其ノ月ノ使用電力量カ第七條所定ノ責任需給電力量ニ滿タサル場
合又ハ全ク電力ヲ使用セサル場合ト雖モ甲ハ右ノ責任需給電力量ニ第
八條所定ノ料金率ヲ乘シテ得タル金額ヲ乙ニ支拂フモノトス

前二項ノ料金支拂期日ハ各計量ノ日ヨリ十日以内トス

第十一條 乙ハ湯水期ニ於ケル電力配給上ノ都合ニ依リ毎一日ノ供給電
力量ヲ二一、六〇〇キロワット時以上ノ範圍ニ於テ制限スルコトヲ得
ルモノトスコノ場合ニ於テハ少クトモ二十四時間以前ニ毎時間ノ供給
電力ヲ甲乙兩者打合セノ上決定スルモノトス

第十二條 乙ハ電氣工作物ノ修繕又ハ手入レノ爲毎月一回日出ヨリ日没
ニ至ル間ノ十時間ヲ限リ全部又ハ一部ノ送電ヲ停止スルコトヲ得ルモ
ノトスコノ場合ニ於テハ少クトモ二十四時間以前ニ其ノ時間並ニ電力
ヲ甲乙兩者打合セノ上決定スルモノトス

第十三條 送電上ノ責任分界點ノ電源側ニ於ケル事故其ノ他甲ノ責ニ歸

スヘカラサル事由ニ因リ乙カ十分間以上ニ亘リ需給電力ノ全部又ハ一部ノ過電ヲ爲シ得サリシトキハ第七條所定ノ其ノ月ノ責任需給電力量ヨリ該減停電電力ニ減停電時間數ヲ乘シテ得タルキロワツト時數ノ六〇パーセントヲ控除スルモノトス但シ乙カ第十一條ニ依リ減停電シタル電力ハ本條ニ於ケル減停電電力トシテ認メサルモノトス

第十四條 甲ノ使用電力カ第一條所定ノ電力ヲ超過シタルトキハ第七條所定ノ其ノ月ノ責任需給電力量ノ計算ニ於ケル電力ヲ實際使用シタル最大電力ニ變更スルモノトス但シ乙ハ電力配給上ノ都合ニ依リ甲ノ超過使用ニ應セサルコトヲ得ルモノトス

第十五條 本契約ノ有効期間ハ送電開始ノ日ヨリ昭和二十四年十一月三十日迄トシ有期間満了ノ一ヶ年位以前ヨリ甲乙兩者協議ノ上双方異存無キトキハ之ヲ延長スルモノトス

第十六條 甲又ハ乙カ本契約ニ違背シタルトキハ相手方ハ將來ニ對シ本契約ヲ解除スルコトヲ得ルモノトシ因テ生シタル損害ニ對シテハ違背者ニ於テ賠償ノ責ニ任スルモノトス

第十七條 本契約ノ實施上官公署ノ許可又ハ認可ヲ要スル事項ニシテ其ノ許可又ハ認可ヲ得ルコト能ハサルトキ及官公署ノ命令ニ依リ實施シ得サルモノヲ生シタルトキハ本契約ハ當該事項ニ付其ノ效力ヲ失フモノトス

第十八條 甲又ハ乙ハ電氣技術者ハ何時ニテモ本契約ト直接關係アル相手方ノ電氣工作物ヲ點檢シ或ハ關係日誌ヲ閱覽シ得ルモノトス

第十九條 甲又ハ乙ハ第三番ト合併シ或ハ本契約ト關係アル事業ノ全部又ハ一部ヲ譲渡スル場合ハ本契約ヲ承継者ニ承継セシメ且承継者ノ義務履行ヲ相手方ニ保證スルモノトス

第二十條 甲乙兩者ハ本契約ノ履行ニ付協議ヲ必要トスル事項ヲ生シタルトキハ共存共榮ノ趣旨ニ基キ誠意ヲ以テ之カ確決ニ努ムルモノトス右契約ノ體トシテ本書ニ通テ作成シ各自其ノ一通ヲ保有スルモノトス

昭和十五年一月三十一日

奥羽電燈株式會社
取締役社長 中 岡 孫一郎

東北振興電力株式會社
社長 横山 助 成

